

## 特 集

# 豊田市における新型コロナワクチン接種

社本 学<sup>1</sup> 野嶋 志帆<sup>1</sup>

## I はじめに

2021 年 2 月に国がファイザー社製の新型コロナワクチン（以下「ワクチン」という。）を特例承認し、2021 年 3 月から先行接種（医療従事者等が対象）が始まり、その後、接種順位に従い高齢者から順に一般接種（一般市民が対象）が始まった。コロナ禍を収束させ国民の健康、安全ひいては生活や経済を守るという共通の目的のため、国を挙げて「希望する国民全員にすみやかにワクチンを接種する」という過去にほぼ経験のない大オペレーションに挑むことになった。

その結果、一般接種が始まってからわずか半年程度で他の先進国と比較しても高い接種率となったが、その間、国の方針転換等に対する緊急かつ柔軟な対応が求められた。

本稿では、本市におけるワクチン接種（初回接種）を振り返り、総括することを目的とする。

## II 接種の推進

### 1. 接種体制とその変遷

#### 1) 当初計画

国からワクチン供給等の情報が明確に示されず、市民の接種ニーズも予想できない状況の中で、以下の想定をもとに、2021 年 3 月、本市はワクチン接種実施計画を策定した。

- ・ 想定接種率 70%（接種対象人口比）とし、2022 年 2 月までに 16 歳以上の豊田市民 25 万人を対象に 2 回接種し、延べ 50 万回の接種を行う。
- ・ 医療機関等の協力を得て、個別接種は 30 万回、集団接種は 20 万回行う。

#### 2) 状況変化

当初計画策定後、国の方針や新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、計画を見直ししながら接種を推進した。主な状況変化は以下のとおりである。

- ① 2021 年 4 月末に国から「新型コロナウイルス感染症の感染を踏まえ、7 月末までに希望する高齢者の接種を完了する」との方針が示され、高齢者接種を大きく加速させた。
- ② 当初 16 歳以上とされた対象者に、6 月に 12 ～ 15 歳が追加され、接種対象者の拡大が図られた。
- ③ 武田 / モデルナ社製ワクチンを活用した愛知県による大規模集団接種が 7 月から、企業や大学等による職域接種が 6 月から開始された。
- ④ 7 月に国からのワクチン供給が急減し、一時的に集団接種の休止や接種会場の見直しが必要となった。
- ⑤ 9 月に国から追加接種（3 回目接種）の方針が示された。

#### 3) 接種体制・接種の推進

ワクチン供給量に応じ、医療機関等の協力を得ながら接種体制の充実を図りつつ、国が示す接種順位に従い段階的に接種を推進した。具体的には、4、5 月に医療従事者等、6、7 月に高齢者等、8 月以降に若年者等の順に接種を進めた。

地域の医療機関が行う個別接種を中心に、市が行う集団接種、愛知県が行う大規模集団接種、企業や大学等が行う職域接種が用意されたことで、市民の選択肢が広がり接種を促進した。

##### (1) 個別接種（ファイザー社製ワクチン）

3 ～ 6 月にかけて、医療従事者等（医療機関、薬局、歯科医院、消防・保健所職員等）及び高齢者・障がい者施設入所者、在宅療養者の接種を先行して行った。

その後、6 月から市内約 150 の医療機関で一般接種が開始された。接種体制が充実したことで、1 週間あ

<sup>1</sup> 豊田市役所感染症予防課

たりの接種回数が最大で 20,808 回を記録した（7 月 26 日～8 月 1 日）（図 1）。

## (2) 集団接種（ファイザー社製ワクチン）

公共施設や民間・医療施設等の 19 会場（1 日あたり最大 12 会場）で延べ 252 回行った。

7 月以降、国からのワクチン供給が急減したことにより、8 月 28 日、29 日、9 月 4 日、5 日の接種を休止した。また、8 月に高齢者、9 月に妊婦とその同居家族の優先接種や、10 月には 2 回目未接種者の接種勧奨を実施し接種の促進を図った。

日本赤十字豊田看護大学から会場の提供及び従事者の全面的な協力を受け、キャンパスモール及び講義室等を使用し延べ 16 回の集団接種を実施した。接種に協力した従事者は延べ 178 人（医師 15 人、看護師 163 人）で、総接種回数は 11,885 回となっている。

## (3) 県大規模集団接種・職域接種（武田 / モデルナ社製ワクチン）

### ① 愛知県による大規模集団接種

愛知県を主体とする大規模集団接種は、5 月 24 日から県内 8 か所で行われ、本市の市民は愛知医科大学メディカルセンター（岡崎市）で接種可能となった。本市分の接種は、2 回のクール（① 7 月 4 日～8 月 23 日② 9 月 27 日～10 月 21 日）で延べ 34,185 回が行われた。

### ② 職域接種

接種の加速化を図るため、賛同する企業や大学等が職域単位で国へ申請し、接種を行った。本市では製造業を中心に実施され、現役世代の接種の推進に貢献した（図 3）。

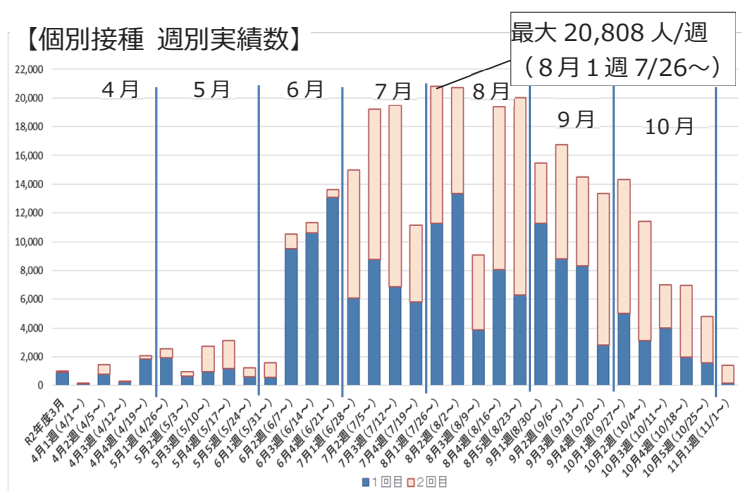


図 1 個別接種 週別接種実績（単位：人）

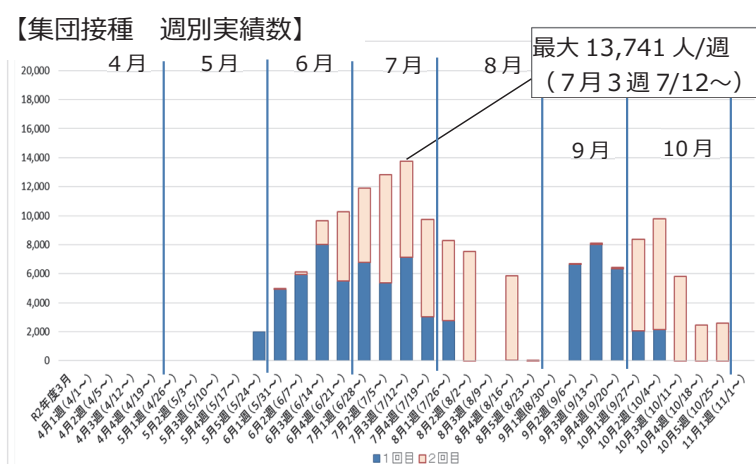


図 2 集団接種 週別接種実績（単位：人）

### Ⅲ 接種実績

2021 年 12 月 1 日現在、市全体の接種回数は当初の想定を上回る 64 万回を超え、1 回目接種率は総人口比 77.1%、12 歳以上の対象者人口比 86.1%となった。高齢者は約 19 万回接種し、1 回目接種率は 7 月末に 65 歳以上人口比 83%となり最終的に 94.8%となった(表 1)。

### Ⅳ 考察

本市では、医療機関との連携による個別接種及び集団接種の枠組みを基本とし、集団接種においては、日本赤十字豊田看護大学、豊田加茂医師会、豊田加茂薬剤師会、トヨタ自動車株式会社等の協力により体制整備を図った。このことで、医療従事者や接種会場の確保、効率的な接種の実現など、市を挙げて一人でも多

く一日でも早く接種する体制を構築できた。このことに加え、愛知県大規模集団接種や職域接種など多様な接種機会の創出や個別医療機関に対する国の補助金等の支援策が打ち出されたことも接種の加速に寄与した。これらの取組により、国の目標より約 1 か月早い 10 月末には集団接種を終了し、12 月までの接種回数は約 64 万回 (85.1%) という結果につながっている。

また、本市の新規感染者数は、2021 年 8 月下旬には 1 日当たり 120 人を超え過去最高となったが 9 月下旬には 10 人未満となり、10 月中旬からは 5 人未満で推移している。一方、ワクチン接種回数は、10 月 2 日には 1 回目接種率 (全人口比) が 70%を超えており、感染状況が落ち着いた時期とも重なる (図 4)。その後も新規感染者の増加や重症化する感染者がみられないことから、ワクチン接種が感染予防や重症化予防に一定の効果があったと考えられる。

### Ⅴ おわりに

ワクチン接種の感染予防や重症化予防の効果については時間の経過とともに低下していくことが示唆されており、2021 年 9 月に国から追加接種 (3 回目接種) 実施の方針が示され、本市においても 12 月から医療従事者等の接種が始まった。

追加接種においても国の方針変更や不透明なワクチン供給などの課題を抱えた中で接種が始まっている

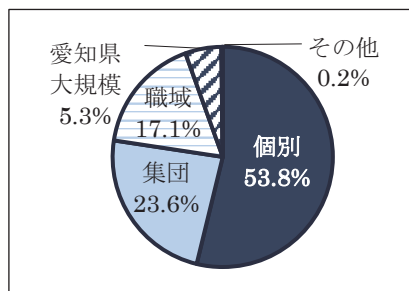


図3 1回目接種分類別内訳

表1 接種実績 (2021 年 12 月 1 日現在)

	合計	うち接種 1 回目	うち接種 2 回目
市全体	645,960 回	324,736 人 86.1%※1	321,224 人 85.1%※1
うち高齢者	188,010 回	94,174 人 94.8%※2	93,836 人 94.4%※2

※1 母数：12 歳以上人口 377,298 人 (2021 年 4 月 1 日時点)

※2 65 歳以上の人口 99,351 人 (2021 年 4 月 1 日時点)

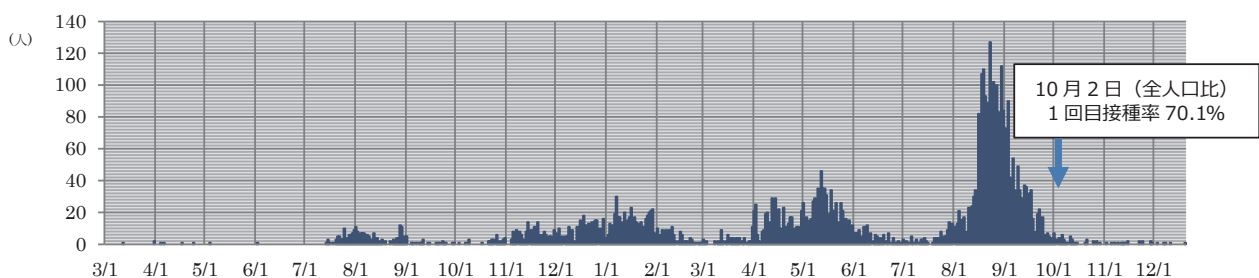


図4 豊田市新型コロナウイルス感染者の発生件数 (2020 年 3 月 12 日～2021 年 12 月 12 日)

が、1, 2 回目接種の経験と反省を踏まえ、関係機関等と協力しながら、より迅速かつ円滑なワクチン接種を目指して、段階的に準備と接種を進めているところである。

#### 参考文献

- 厚生労働省 (2021). 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き (5 版). 2021 年 11 月 16 日. <https://www.mhlw.go.jp/content/000857760.pdf> (2021 年 12 月 8 日)
- 厚生労働省新型コロナワクチン Q&A <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/> (2021 年 12 月 8 日)